

第 5 回 One Book One OSAKA 事業実行委員会

平成 28 年 3 月 24 日 14 : 00 -
大阪市立中央図書館 中会議室

- (1) 開会 出席者確認(別紙名簿参照) . . . (別紙)
府立中央図書館の 3 名は館事業のため欠席。事業については引き続き一緒にやっていきたいと伺っている。
配布資料の確認
- (2) 第 5 回投票結果について(集計中) . . . (別紙)
- ・ 投票数・開票結果
最終集計中だが暫定の順位を報告
自由記入約 3,000 票 2~24 の投票と合わせて約 12,000 票
自由記入は票が割れていて、ランキングに影響を及ぼすほどではない
 - ・ インターネット投票について(会議では未報告)
177 票の投票有。前回 35 票と比較し 5 倍以上。OneBook のページから直接投票できる、選択式で投票が容易であることなどが理由かと思われる。絵本を選んだ理由についても多くの方にご記入いただいた。また、協賛企業であるセレッソ大阪との HP 相互リンクの影響もあり、OneBook ページへのアクセス数が増加した。
 - ・ 各区での開票作業について
- (3) One Book の決定について
最多得票：『へんしんトンネル』(シリーズ)
第 5 回 One Book は、『へんしんトンネル』に決定することを承認。
- (4) 投票期間中及び期間終了後の各区の関連イベントについて
- 絵本展等での取り組み
 - (北区) 豊崎本庄小では、児童いきいき放課後事業の方でも協力くださり、集まった投票用紙全部を、2 月なかばから卒業式・終業式頃まで図書室前の廊下に展示している。展示が終わった後は、図書ボランティアが図書室にファイルを作って、閲覧できるようにする予定。
 - (浪速区) 「絵本フェスタ」で One Book 関連図書を展示した。
他、7 月の「なにわの日」イベントで、通常のおはなし会より遅い時間の夕方 5 時から「夜のおはなし会」をおこなったところ大盛況だった。参考にお伝えしたい。
 - (中央区) 絵本展で One Book の PR をした。文紙 MESSE では、何人かの子どもたちから『うみの 100 かいだてのいえ』を読んでと頼まれ、眼鏡がなかったが必死で読んだ。眼鏡がなくてごめんね、と言った

ら、1人の子が「ええよ、かまへん」と言ってくれるのが印象深かった。その子のお母さんによると、「この子は本が好きで、図書館で本を借りてきたら期限まで何べんでも読む。何でもええよ、と言うので私が選んで借りてきている」とのこと。読み聞かせは、右から左に風のように抜けていくように感じるが、積み重ねて種をまいていかないといけないと感じている。また、『100 かいたてのいえ』だけではなく、シリーズの他の作品にも目を通しておかないといけないと思った。

（鶴見区）文紙 MESSE・冒険博では、子どもを One Book コーナーで過ごすよう連れてきて、その間に親御さんがイベントの順番取りをしていることが多かった。親御さんが迎えに来ると、「絵本の方がいい」と OneBook コーナーから離れるのを嫌がっている子もいた。

（住之江区）ある保育所で、一度読んだ大型絵本を、次も持ってきて、次も持ってきてと子どもたちに言われ、毎回持って行って読んだが、4回目で急に「もう飽きた」と言われた。子どもたちのそういう気ままさがうれしい。図書館でのおはなし会では、絵本を間にして子どもたちと遊ぶという感覚でやっていると、子どもたちがたくさん集まるようになった。

（東住吉区）「絵本ひろば」では年2回、One Book のランキングを発表している。子どもたちのお母さんも興味を持ってきている。児童いきいき放課後事業の指導員の方も子どもを連れてきてくれる。

（西成区）これといった One Book イベントはおこなっていないが、普段の活動でできるだけ One Book を取り入れるようにしている。OneBook の気に入っているところは、選ばれる過程を大切にしているというところ。選ばれた後のイベントも大事だが、選ばれるまでに何かできないかといつも考えている。イベントでその日の1冊を決めるのはどうか。

（東淀川区）区役所の絵本読み聞かせ事業が4年めに入っている。地域のボランティアが中心になって区民の方の寄贈本によるミニ絵本展を行っている。本の好きな方が大事にしている本をくださるので、不要になった本というよりきれいな本が展示できている。一番 One Book の票が集まるのは、児童いきいき放課後事業か、夏休み。絵本読み聞かせ事業で2月に「絵本まつり」をおこなったときに、絵本を読んでいる写真や絵本のキャラクターのイラストを募集して展示した。館長に相談し、One Book の投票用紙も一緒に展示した。地域でことあるごとに声掛けをして、票が集まればいいなと考えている。

- 夏休み！こども冒険博（16日間）：384票、文紙 MESSE(2日間)：351票、セレッソホームゲーム(2回)：376票などでも投票実施
- 大阪商工信用金庫各店での投票：30票

文紙 MESSE では、文紙 MESSE 協議会より、クレヨン・ボールペンをご提供いただいた。

文紙 MESSE・セレッソホームゲームでは、大人の方にもかなり投票いただいた。

セレッソホームゲームでは、開場から試合開始までの短時間にもかかわらず多数集まった。

冒険博、文紙 MESSE 当日は実行委員の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました！

(5) One Book の発表について

4 月 23 日(土)(子ども読書の日)10：00 に図書館 HP で発表予定

発表方法などは調整中

23 日は、東淀川区、浪速区、北区等多くの館で行う子ども読書の日記念事業の中でも OneBook をお披露目できればより盛り上げられるのでは。紹介するための絵本の準備が必要であれば、図書館を通じて依頼していただく。

(6) 28 年度の One Book イベントについて

- ・ランキング上位に入った絵本を中心に各区で実施
- ・区ごと・年代ごと・イベントごとのランキングやボランティアランキング等も出ているので活用することも可能
- ・文紙 MESSE2016 会場などでも OneBook にちなんだイベントを実施したい(調整中)
- ・One Book 絵本セットあり。日程が重複しなければ送るので、お近くの図書館で相談を

(7) 規約の改正について

・・・(別紙)

- ・会計の設置、事業・会計監査の実施
- ・事業年度を 4 月から翌年 3 月までの一年とすること

28 年度の実行委員会は以下の体制で行うことを承認

実行委員長：渡辺さん

実行副委員長：上田さん

常任委員：鶴久森さん

監事：坂口さん・浅山さん

会計は人選を行い後日承認依頼予定

(8) 第 6 回投票について

- 実施について 引き続きおこなっていくことで承認
- 方式、候補リスト等について

- ・投票用紙に表紙を掲載する今のやり方にして今回で2回目。経費がかかっているが、人気があり、ぜひこの形式を続けたい。子どもたちは表紙を見て投票用紙を書く。

- ・去年も話をしたが、図書館だからこそできる個性的な One Book があれば。傷みがはげしく何回も買いなおしたリスト等があれば、子どもたちにとっても愛された絵本ということになる。そういったリストを出すことは可能か？(→図書館：確認します。)

また、読み聞かせしやすい絵本もいいが、読み聞かせしやすさにかかわらず子どもたちが好きな絵本が選ばれるとよい。『ミッケ』は子どもたちに好かれているが今回も選ばれずさみしい。

- ・貸出数が多いものをリストに反映させたい。もともとリストに入っていて重なるものが多いと思うが。図書館ごとによく読まれている絵本を入れるとか。数に基づいたら説得力がある。

(実行委員会では明確に回答できませんでしたが図書館から補足します。貸出数の多いものを抽出することは可能です。また、(ぼろぼろになって) 払出した冊数が多いえほんのリストを抽出することは難しいですが、今まで図書館で受け入れた冊数(現在使われているものも既に払出したものもすべて含む)が多いえほんのリストであれば抽出できそうです。

リスト作成には相当時間がかかるので、次回の実行委員会時にある程度お示しできるように準備します。)

文紙 MESSE は、若い女性がたくさん投票してくれた。島之内図書館のかえるのぬいぐるみが功を奏したようだ。

今回、『ももたろう』の票がのびた。au のCMの影響のよう。ボランティアの中で「今こそ昔話にチャンスが来ている」と言っている。

- ・ランキングよりも OneBook を選ぶまでの過程が大事。あまり読まれていない本でも、「こんな本があるのか」と気づくなどいろいろ紆余曲折を経てほしい。

- ・東淀川区の絵本読み聞かせ事業で区民のみなさんからいただく絵本は、不思議とリストの絵本と重なることが多い。いらない絵本をくださるのではなく、大事な絵本をくださっているのだと実感する。

これからいろんなイベントをおこなって次の投票につなげたい。さきほど昔話について話題に上ったが、最近『ももたろう』『三びきのやぎのがらがらどん』の大型絵本が出版された。ぜひ活用を。

- ・住吉大社には、一寸法師発祥の地という伝説があり、一寸法師にからめて住吉大社の話をすると子どもたちは興味を持ってくれる。大阪を発祥とした昔話をもう少し探究してみたい。

- 経費の獲得について

引き続き努力します(事務局)

(9) 次回実行委員会について

平成 29 年 1 ～ 3 月頃を開催し、次の投票に向けて具体的に検討する場としたい。

